

Phil Jones Bass

PJB DOUBLE FOUR OWNER'S MANUAL



PJB 製品日本総代理店

 JES International, Inc.

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山 711-1
TEL:0561-72-9801 FAX:0561-72-9804 www.jes1988.com

DOUBLE FOUR をご購入頂きありがとうございます。

この DOUBLE FOUR は、多くの情熱と時間をそそいでデザインおよび製造されており、妥協のないハイ・パフォーマンスを提供する、完全な『プロ仕様』のベースアンプです。

この取扱説明書をよく読んで、末永くご愛用ください。

まずお読み下さい

- ・ご使用前に、このマニュアルをよくお読み下さい。
- ・開梱後、本体にダメージなどがないかご確認ください。もしダメージなどが認められる場合、お買い上げの販売店に報告してください。
- ・外箱などの梱包材は保存してください。

警告

下記の警告や注意事項に反するご使用で破損や問題が生じた場合は、
保証の対象になりませんので、ご注意ください。



誤操作や誤使用により感電する恐れがあります。

ヒーターやストーブなど、熱源の近くに置かないでください。
この取扱説明書で指定された電源以外での使用は避けてください。
安全のために、長時間ご使用にならない時は、コンセントから電源コードを抜いて
下さい。



使用上の注意事項。

装備されているファンや通風孔を塞ぐ場所での使用は避けてください。

以下の場合にはご使用をおやめください：

1. 目に見える損傷がある場合。
2. 飲み物、雨などの湿気にさらされた場合。
3. 電源ケーブル、スピーカーケーブルに損傷がある場合。

これらの症状が認められた際にはリペアショップにご相談ください。

DOUBLE FOUR / 概要

BASS CUB を超えるマジック

“DOUBLE FOUR”は超小型ベースアンプの頂点と言えるでしょう。この極小のベースアンプは自宅練習や自宅録音用に生まれましたが、新設計のスピーカー、最新のアンプテクノロジーによってもたらされるPJB独自の素晴らしいベースサウンドに誰もが驚くことでしょう。実際宝石箱のようなこの小さなキャビネットから生まれるサウンドは全く想像を超えています。

小型スピーカーで究極のベースサウンドを生み出してきた経験を活かし、さらに小型の“Neo Power”4インチスピーカーを開発しました。ベースのサウンドをフルに表現することができるこの小さなスピーカーは、当社の誇るR&D設備、ベースアンプメーカーとしては最大を誇る無音響室、スピーカー解析の最高峰であるKLIPPELシステム等を使用することで、ようやく完成した、最高の4”スピーカーです。ネオジウムマグネット、全周波数帯域におけるスピーカーコーン挙動、コーンのサスペンション、フレームまで、全てを解析し、理想を追求しました。さらに実際のベースサウンドをシミュレートしながら、全帯域にわたってスピーカーの限界能力を引き出しています。

2個ある4インチのスピーカーはそれぞれが個別のPWM(Pulse Width Modulation)アンプで駆動されています。PWMデジタルアンプは、アナログのアンプと比べ、パワーロスの原因となる熱を持ちにくく、電気的なエネルギーを非常に効率良くスピーカーに伝えます。また熱を持たないため、一般のアンプと比べ長期に渡って安定したパフォーマンスを維持することができます。

2つのアンプをそれぞれのスピーカーに使うことによって、ダンピングファクターが倍となる為、ベース音をコントロールし制御する能力が格段に高まります。その結果、非常にコントロールし易くタイトでパンチがあり、濁ってぼやけたサウンドとは無縁のベースストーンが生まれるのです。

キャビネットの新技术

小さなアンプのサイズを最大限に活かすためRALFRという新技术を採用しました。RALFRの技術は、低域の周波数のみに反応する空気圧を応用したパッシブラジエターで、4インチのスピーカーの反対側に設置されています。スピーカーから出力される30~150Hz帯域のサウンドを増強すると同時にメインスピーカーの動きを最小限に抑える為、見た目以上の大パワーに対応することができます。

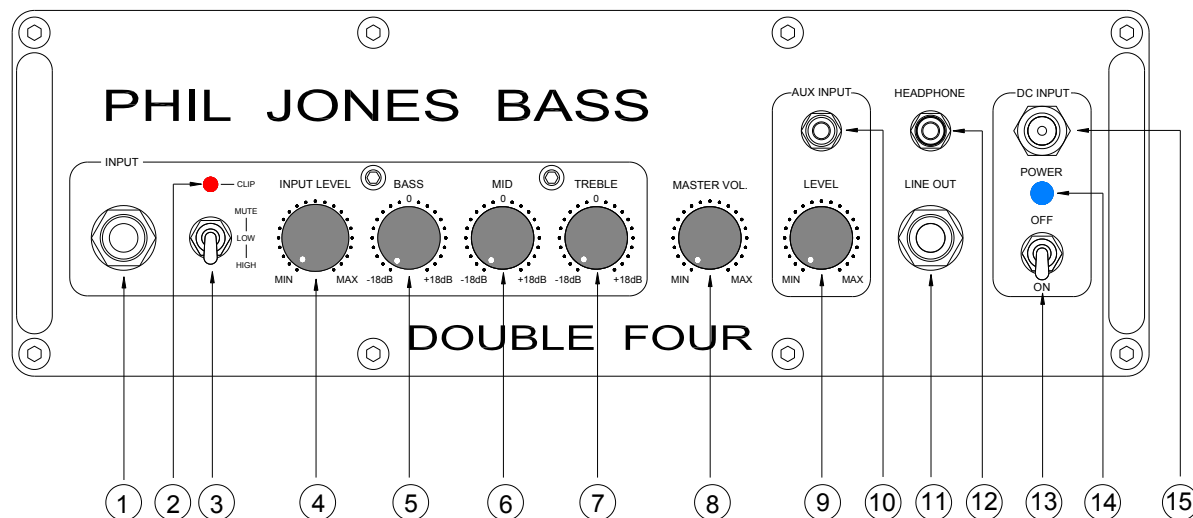
サウンド特性をも考慮して選ばれた積層パーティクル材のキャビネット内部は、強固な補強がなされており、最適なアコースティック感を生むよう、吸音材も使われています。

さあ、DOUBLE FOURで、あなたの使用するベースのリアルな音を聞いて下さい。

主な特徴

- ・ ミュート及び入力感度切替スイッチ付ハイゲインインプット
- ・ AUX 入力用ステレオミニジャックインプット
- ・ 3バンドイコライザー
- ・ 外部機材用ラインアウト
- ・ プロテクション回路
- ・ 70W RMS パワーアンプ
- ・ 世界中で使える AC アダプター(90-240V)

パネル



パネル解説

1. インプット・ジャック

パッシブ、アクティブどちらにも対応するハイインピーダンス仕様の入力ジャックです。

2. クリップ／ミュート・インジケータ

入力が大きすぎる場合、このライトが点灯します。また入力感度切替を Mute にすると緑色に点灯します。電源を入れた時にも一瞬点灯します。

3. 入力感度切替スイッチ

MUTE: 入力をミュートします。

LOW: アクティブベースなどプリアンプ経由の信号用

HIGH: パッシブベースなど、ハイインピーダンス・シグナル用

4. インプット・レベル

入力ゲインを調整します。もっとも大きな音の瞬間にクリップインジケータが時々点灯するぐらいが適切なゲインです。

5. ベース EQ

低音域の調整をします。ベースの基音となる周波数帯域をコントロールします。

6. ミドル EQ

中音域の調整をします。楽器のトーンを形成する帯域です。一般的にベースらしい音を作るなら、ブーストよりカットの方が好ましいでしょう。ブーストはソロなどで強調したい時に有効です。

7. トレブル EQ

高音域の調整をします。音質がより鮮明になります。スラップにはブーストが、レゲエにはカットが有効でしょう。ブーストをしていくと、楽器やケーブルなど環境によって、ホワイトノイズが乗ってくる事もあります。

8. マスターボリューム・コントロール

入力インプットおよび AUX インプット全体の音量をコントロールします。

9. AUX インプット・ボリューム・コントロール

AUX 入力の音量を調節します。

10. AUX 入力用ジャック

ドラムマシンやオーディオプレイヤーなどを接続できる、ステレオミニジャックです。

11. ラインアウトジャック

レコーディングスタジオ並のクオリティを持つ、DOUBLE FOUR のプリアンプシグナルを出力できます。レコーディングや、他のベースアンプにつなぐ時に使用します。

12. ヘッドフォンジャック

ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンが接続されている時は、スピーカーから音が出ません。

13. パワースイッチ

メインの電源スイッチです。長時間ご使用にならない時は AC アダプターを壁のコンセントから抜き、DOUBLE FOUR の DC インプットジャックからも抜いて下さい。

14. パワーLED

電源が入ると点灯します。

15. DC インプットジャック

AC アダプターを接続します。必ず付属のアダプターを使用して下さい。他のアダプターを使った場合、本体にダメージを与える場合があります。

使用に関して

ご利用の前にボリュームを下げて下さい。

楽器を接続する時は、かならずボリュームをゼロにして下さい。

DOUBLE FOUR の設置場所

演奏する場所のサイズで音色が変化するのは周知の事実ですが、これは演奏する部屋の音響特性が、スピーカーから出る低音の波長に影響を与えるためです。低音波は大きいため、壁によって反射する音波との間で相互干渉を起こします。そのため、ある音が余計大きく聞こえたり全く聞こえなかったりするわけです。

下記に基音となるベースの開放弦の周波数と波長を記します。

F# string	24Hz	46 feet (13.85m)
B string	31Hz	36 feet (10.84m)
E string	41Hz	27 feet (8.13m)
A string	55Hz	20 feet (6.02m)
D string	73Hz	15 feet (4.52m)
G string	98Hz	11 feet (3.31m)
C string	130Hz	9 feet (2.71m)

この表によると、たとえばスピーカーが壁から5フィート(約1.5m)離れていたとすると、開放のA弦が本来持つ重さが損なわれるでしょう。何故なら、壁によって反射した音の波長が開放A弦の波長のちょうど半分になるからです。

スピーカーを、演奏する部屋のどこに設置するかが、音色を決める上で非常に重要になります。壁に近ければ低音域が増幅されるし、コーナーに設置すればさらにその傾向は強まります。

演奏する部屋の広さも低音の深さを決定する面で非常に大きな影響を与えます。聴衆に遠ければ低音は弱く聞こえます。これはアンプの問題ではなく、物理的な問題なのです。ディープでパワフルなベース音を出すには、アンプを床に置き、背面が部屋のコーナーに向くよう設置するといいいでしょう。

ベーシストにとって、低音域のコントロールは常に頭痛の種であり、スピーカーから出る音と、壁に反射して起こる音との相互干渉は、部屋の大きさによっても左右されるのです。

DOUBLE FOUR の特性について

DOUBLE FOUR は通常のアナログアンプと違い、プリアンプとパワーアンプを担当する2つのデジタルプロセッサによって駆動されています。DOUBLE FOUR の小型軽量でありながら、パワフルかつクリアなベースサウンドは、このデジタルプロセッサのおかげです。また3バンドイコライザーも全て、デジタル処理で行われるため、非常にリニアな調整が可能です。デジタル処理のため、コントロールを急に回した時などに、一瞬音色の変化に遅れが生じます。これはデジタルアンプ特有の現象であり、故障ではありません。

DOUBLE FOUR の運搬と保管

車で運搬する際には付属のキャリングバッグをお使い下さい。保管は、湿気が少なくできれば室温に近い場所で行ってください。-20 度以下、または 40 度以上の場所には放置しないでください。濡れてしまった場合は決して電源を入れないでください。

長期間ご使用にならない時は必ずコンセントから電源コードを抜いてください。

SPECIFICATIONS

Speaker

Rectangular Auxiliary Low Frequency Radiator(RALFR) Enclosure
Speaker Frequency Response: 60Hz -15KHz
Speaker Compliment: 2 x 4 inch proprietary, extended-range drivers
Internal Speaker Impedance: 4 Ω
Dimensions: 210 (W) x 200 (D) x 170(H)mm
Weight: 3.9kg

Amplifier

PJB 70watt, digital amplifier with DSP(Digital Signal Processing)

Signal to Noise Ratio

Better than 84 dB (EQ off, Volume on Full.)

Impedance

High Input: >1M Ω /22pF
Low Input: >30K Ω /22pF
Pre Amp Line Out: < 2k Ω

Levels

High Input: 30mV-2V
Low Input: 50mV-1.5V
Pre Amp Out: 1.2V

付属品 : AC アダプター

PJB製品の最新情報は
www.jes1988.com